

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 1 月 30 日 (2020.1.30)

【公表番号】特表 2018-525130 (P2018-525130A)
 【公表日】平成 30 年 9 月 6 日 (2018.9.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-034
 【出願番号】特願 2018-510378 (P2018-510378)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 18/08 (2006.01)

A 6 1 B 18/10 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 B 18/08

A 6 1 B 18/10

【誤訳訂正書】
 【提出日】令和 1 年 12 月 16 日 (2019.12.16)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 6 0
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【 0 0 6 0 】

いくつかの実施形態では、組織切除デバイス 1 0 0 は、子宮ポリープを切除する等の特定の手順のためにのみ使用されるように、又は、特定数の手順のために使用されるように構成される。例えば、子宮ポリープは、一般的には、子宮筋腫よりも低い繊維度又は機械的剛性である。従って、子宮ポリープ切除のために構成された組織切除デバイス 1 0 0 の材料は、比較的高い耐摩耗性である必要はなく、又は、子宮筋腫の切除中に存在する場合がある比較的高レベルの力に耐える必要はない。比較的低い耐摩耗性の材料及び / 又は比較弱い材料により、組織切除デバイスを、子宮筋腫の切除のために構成されたデバイスよりも低いコストで作ることを可能にする。例えば、内側スリーブ 1 7 0 及び外側スリーブ 1 7 5 は、3 0 4 ステンレススチール又は別の比較的低い強度の生体適合性ステンレススチールで構成されてもよい。加えて、少なくとも絶縁層 2 0 2 は、ポリエステル又は他のポリマー等の比較的耐久性のある材料とは反対の F E P で構成され得る。

【誤訳訂正 2】
 【訂正対象書類名】特許請求の範囲
 【訂正対象項目名】全文
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

子宮ポリープを切除するための組織切除デバイスであって、
 長手方向軸線を有する細長い構造体を有し、前記細長い構造体は、子宮ポリープ組織を受入れるように構成された遠位窓を含む外側スリーブと、前記窓に対する近位位置と遠位位置の間を移動するように構成された内側スリーブを含み、
 更に、第 1 の極性を有する電極要素を有し、前記電極要素は、前記内側スリーブに結合され、前記窓を横切るように近位位置と遠位位置の間を移動可能であり、
 更に、前記電極要素の近位側の前記内側スリーブを覆う絶縁層を有し、前記絶縁層の一部分は、遠位位置において前記窓の中で露出され、
 前記絶縁層は、子宮ポリープ組織よりも繊維質の組織を切除するのに使用されるときは

いつでも、前記絶縁層と前記内側スリーブの間の接触程度が減少されるように構成され、前記内側スリーブの一部分を露出させ、前記電極要素と前記外側スリーブとの間の電気経路を変更し、前記外側スリーブは、第１の極性と反対の第２の極性を有する戻り電極として機能する、組織切除デバイス。

【請求項２】

前記絶縁層は、子宮ポリープ組織よりも繊維質である組織を切除するのに使用されるときはいつでも、前記内側スリーブから剥離するように構成される、請求項１に記載の組織切除デバイス。

【請求項３】

前記絶縁層は、前記電極要素に直接に結合される、請求項１又は２に記載の組織切除デバイス。

【請求項４】

前記遠位窓は、約５ｍｍ～約１０ｍｍの長手方向長さを有する、請求項１～３のいずれか１項に記載の組織切除デバイス。

【請求項５】

前記遠位窓は、約８ｍｍの長手方向長さを有する、請求項１～４のいずれか１項に記載の組織切除デバイス。

【請求項６】

前記絶縁層は、フッ化エチレンプロピレン（ＦＥＰ）を含む、請求項１～５のいずれか１項に記載の組織切除デバイス。

【請求項７】

前記内側スリーブは、３０４ステンレススチールを含む、請求項１～６のいずれか１項に記載の組織切除デバイス。

【請求項８】

前記外側スリーブは、３０４ステンレススチールを含む、請求項１～７のいずれか１項に記載の組織切除デバイス。

【請求項９】

前記絶縁層は、約０．０１２７ｍｍ～約０．０３８ｍｍの厚さを有する、請求項１～８のいずれか１項に記載の組織切除デバイス。

【請求項１０】

医療デバイスシステムであって、

細長いプローブを有し、前記細長いプローブは、

外側スリーブと、内側スリーブと、前記内側スリーブの遠位端部の近くに配置された電極要素と、前記内側スリーブに結合され且つ前記内側スリーブを前記外側スリーブから絶縁する絶縁層を含み、前記外側スリーブは、その遠位端部の近くに配置された窓を含み、

前記絶縁層は、前記細長いプローブが子宮筋腫を切除するのに使用されるときはいつでも、前記内側スリーブから剥ぎ取られるように構成され、

前記医療デバイスシステムは、更に、前記内側スリーブを前記外側スリーブに対して往復動させるためのモータと、

組織を切除するエネルギーを前記電極要素から送出するためのＲＦ発生器と、を有する医療デバイスシステム。

【請求項１１】

前記絶縁層は、前記電極要素の少なくとも一部分に結合される、請求項１０に記載の医療デバイスシステム。

【請求項１２】

前記窓は、約５ｍｍ～約１０ｍｍの長手方向長さを有する、請求項１０又は１１に記載の医療デバイスシステム。

【請求項１３】

前記遠位窓は、約８ｍｍの長手方向長さを有する、請求項１０～１２のいずれか１項に記載の医療デバイスシステム。